

スローガン

「みんなで守ろう生命と暮らし」

当委員会は、越前市内各地区及び町内の自主防火・防災団体の中核として「みんなで守ろう生命と暮らし」をスローガンに、関係機関と協力し『災害に強いまちづくり』を目指して「防火」及び「防災」に関する事業を推進しています。

防火ポスター入選作品

子供の頃から防火意識を高めることを目的に、毎年小中学生の児童・生徒を対象とした防火ポスター募集事業に協賛し、優秀作品に対する賞状等の贈呈を行うと共に、防火ポスターを量販店及び防火・防災モデル地区の催し物会場へ掲示し、広く市民に紹介しています。今年も数多くの出品があり、審査の結果12点が防火・防災委員長賞に選ばれ表彰されました。

【防火・防災委員長賞】12作品



武生東小学校 4年生
河合 咲和さん



国高小学校 1年生
形谷 琉惟さん



国高小学校 2年生
六戸部 悠叶さん



国高小学校 4年生
館 采良さん



北日野小学校 1年生
長谷川 鈴夏さん



北新庄小学校 4年生
川崎 小夕さん



南中山小学校 2年生
藤本 條太郎さん



武生第一中学校 1年生
山本 藍晴さん



武生第二中学校坂口分校 2年生
川端 良奈さん



武生第三中学校 2年生
藤本 莉璃さん



万葉中学校 1年生
中西 凜さん



南越中学校 2年生
越崎 結子さん

福井県



総合防災訓練



令和7年11月8日(土)に丹南総合公園で、福井県総合防災訓練が開催されました。

越前市内で震度6強の地震が発生した想定で、早朝から吉野地区住民が各町内の一次避難場所では安否確認を実施。その後、丹南総合公園体育館では吉野地区自主防災組織による被害情報の収集訓練や防災資機材の組み立て体験など、参加者による避難所設営・運営訓練が行われました。

この他、多言語での外国人市民避難者の受付、要支援者のための福祉スペースの設置、ペット避難所の開設、防災士による防災スカーフの展示など、要配慮者も安心して避難できる避難所整備訓練が実施されました。

企業防災展示ブースでは、県や市と災害協定を締結する事業所・関係機関が、支援物資や資機材、非常食など、各事業所の特色ある製品等の紹介を行っていました。

また、今年度に県が新たに導入したトイレトラックや水循環型手洗い器、自衛隊の入浴支援設備を使つての足湯体験など、避難者の衛生環境に配慮した設備も展示されていました。

公園グラウンドや芝生広場では、自衛隊による重機での道路啓開や、ヘリコプターでの孤立地域からの救助訓練、福井県内の消防機関による倒壊した建物や車からの救助訓練、林野火災を想定した地上の放水車と空中からの防災ヘリコプターでの消火訓練、ドローンを使った情報収集と物資の輸送など、30台の車両や機材が集結して、大規模な訓練が展開されました。

当日は好天に恵まれ、訓練参加者のほか、親子連れなど来場された多くの皆さまにとって、防災意識を高める機会となりました。

しかし、実際の災害発生時には、大雨や暑さ・寒さなど、厳しい環境が想定されます。

いざという時に、自分や家族の命を守り、少しでも安全・安心な避難や生活ができるよう、普段から備えておきましょう。



寄付業者一覧(南越地区消防設備協会)

下記の加盟店からご寄付をいただき、越前市防火・防災委員会の運営に役立てています。ありがとうございます。

(有)越山防災 様 / エヌ・エル・ジー企画 様 /
(株)河嶋連蔵商店 様 / (株)国高防災 様 / 藤井防災エネルギー(株) 様





令和7年度 防火・防災モデル地区



●岡本地区 (8月31日・日曜日)

震度6強の地震を想定した防災訓練を実施しました。

一次避難場所・広域避難場所への集落ごとの避難、避難所カードを使った受付、防災資機材の展開訓練などを通して、地域防災力の向上を図りました。

(主な訓練内容)

- ・一次避難場所及び広域避難場所への避難訓練
- ・広域避難場所の避難所設営訓練 ・防災ヘリ救助訓練
- ・消防車の展示 ・起震車体験 ・初期消火訓練(消火器)
- ・防災士による防災スカーフ展示、新聞紙紙コップ作成体験
- ・仁愛大学学生や大塚製薬による非常食ローリングストック説明
- ・消防音楽隊の演奏会



●白山地区 (10月19日・日曜日)

震度6弱の地震を想定した防災訓練を実施しました。

広域避難場所でのLINEアプリを活用した避難者受付を行ったほか、多数のブース出展を行いました。会場外では、食生活改善推進員と赤十字奉仕団による炊き出しや、住民参加によるバケツリレーでの初期消火訓練、防災ヘリ救助訓練の見学などを行ない、地域の防災意識の向上を図りました。

(ブース出展内容)

- ・避難場所に配備された資機材の展示及び設営体験
- ・煙体験 ・初期消火訓練(消火器)
- ・仁愛大学学生や大塚製薬による非常食の展示
- ・防災士による防災スカーフ展示、新聞紙紙コップ作成体験
- ・電気自動車のバッテリー運用デモンストレーション



自主防災組織リーダー育成研修会

8月27日(水)に越前市文化センターで、令和7年度自主防災組織リーダー育成研修会を開催し、地区や町内の自主防災組織の中心となる区長や自警消防隊など435名が参加しました。

今年は「まちの防災研究会」の松森和人氏を講師に招き、地域防災について講演いただきました。防災とは災害から人命を守るための活動であるとしたうえで、災害を「あまく見ない」「正しく学ぶ」「つながる」の3か条が重要であることを学びました。



また、地域が主体的に防災活動を実践するための「地区防災計画」について、各地域に適した実行可能な計画を住民が意見を出し合っボトムアップ型で作ることが重要であると解説されていました。市役所防災危機管理課からも、地区防災訓練の実施や地区防災計画の作成など、実施にあたって伴走型で支援することを説明し、避難所にキーボックスの設置や備蓄資機材の分散配置など、市と一緒に地域防災の取組みを進めていただくよう呼びかけました。

防火・防災モデル地区(白山・岡本地区)

越前市防火・防災委員会では、防火・防災モデル地区を毎年指定し、防火・防災意識の普及啓発に努めています。



白山地区



岡本地区



防火・防災団体への支援

越前市防火・防災委員会では、地域防災力の向上を目指して関係団体の活動を支援し、育成強化に努めています。

越前市少年消防クラブ

市内の全17小学校児童657名で編成された越前市少年消防クラブに育成費を交付して、クラブ活動を支援し、児童とその家庭の防火・防災意識の啓蒙に努めています。

少年消防クラブ員による避難所生活体験
(リーダー講習会にて)

越前市幼年消防クラブ

市内の全29箇所の保育園、幼稚園及び認定こども園の園児605名で編成された越前市幼年消防クラブに育成費を交付して、幼年期における防火・防災意識の啓蒙に努めています。

幼年消防クラブ員による消防車両見学状況
(防災ふれあいプラザにて)

越前市自警消防隊連合会

地域防災力の向上を目指して、越前市内の自警消防隊全隊員を対象とした傷害保険に加入し、災害活動時の隊員の福祉向上に努めています。



自警消防隊員傷害保険の補償内容

- 保険対象：越前市自警消防隊連合会に登録している隊員の自警消防隊活動中の事故等
- 補償内容：
- 死亡・後遺障害保険… 200万円
 - 手術保険金 入院時…30,000円 外来時…15,000円
 - 入院給付金 1日当たり…3,000円
 - 通院給付金 1日当たり…2,000円